



東証1部 証券コード 3116

2021年度（2022年3月期）

第3四半期 決算説明会

開催日：2022年2月2日

目次

1. 2021年度第3四半期 決算状況
2. 2021年度 通期業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2021年度第3四半期 決算状況

2. 2021年度 通期業績予想

3. 参考情報

- ◆伊藤でございます。
- ◆お忙しい中、当社の2021年度 第3四半期 決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆本日は、はじめに、2021年度 第3四半期の決算状況、続いて、通期の業績予想をご説明させていただきます。
- ◆それでは、2021年度 第3四半期の決算状況についてご説明いたします。

1-1) 2021年度第3四半期 決算状況 連結決算概要

(億円)

	20年度 第3四半期実績		21年度 第3四半期実績		増減	
	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
売上収益	9,236	100.0%	10,349	100.0%	1,112	12.0%
営業利益	338	3.7%	424	4.1%	85	25.3%
税引前利益	333	3.6%	448	4.3%	114	34.4%
当期利益*	124	1.3%	244	2.4%	120	96.5%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益	66円73銭	131円1銭		
為替レート	USドル	106円	111円	+5円
	1-円	122円	131円	+9円

売上収益

前年度コロナ禍からの需要回復により増収

営業利益

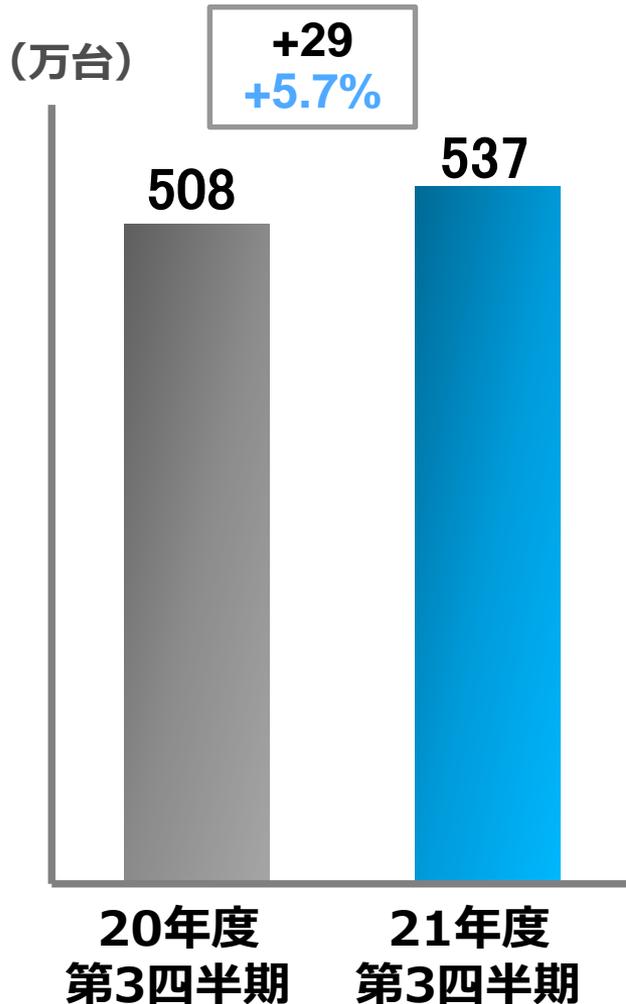
将来に向けた投資など減益要因はあるが、
新製品効果や生産変動への柔軟な対応等により増益

スクリプト

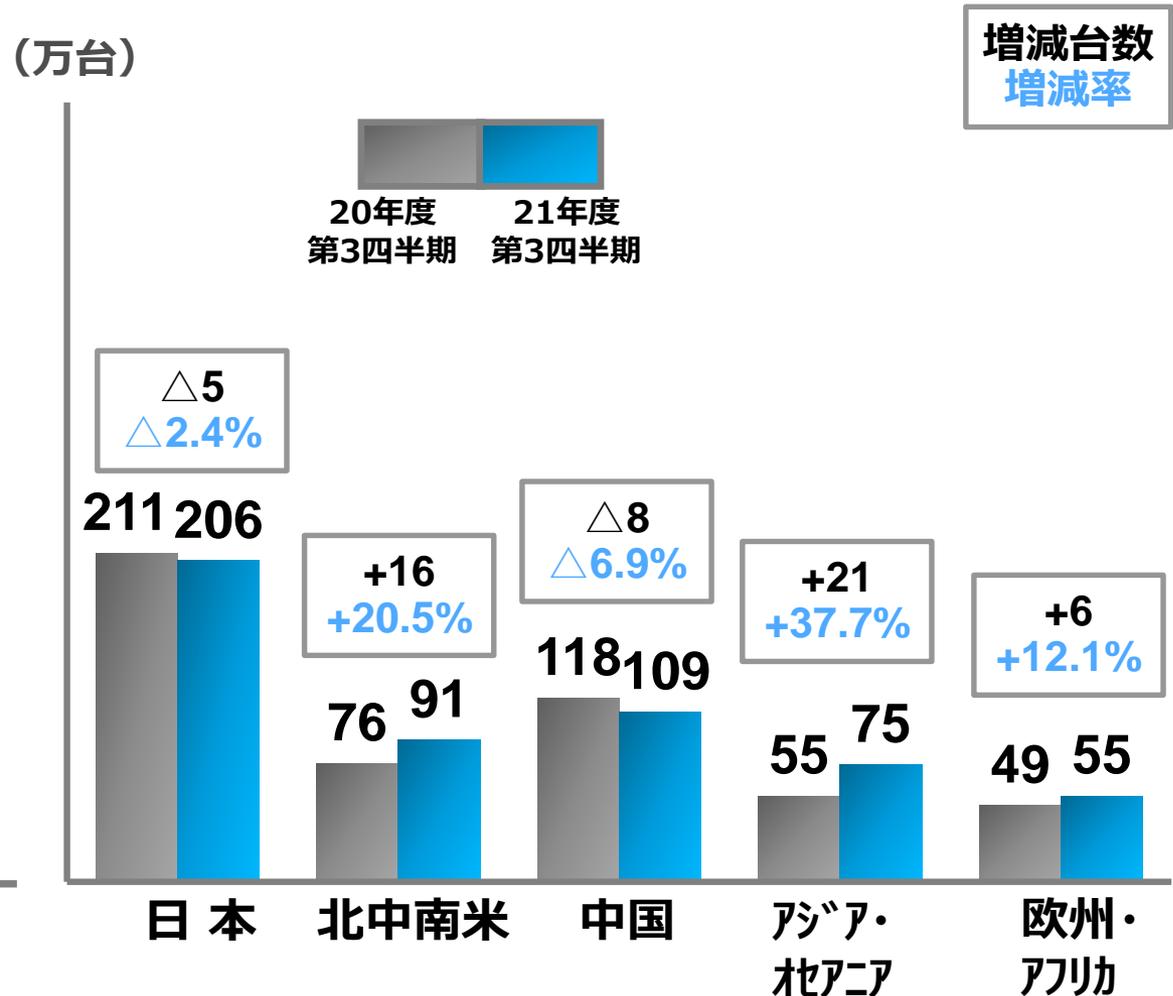
- ◆ 売上収益は、前期比1,112億円増加の1兆349億円。
- ◆ 営業利益は、前期比85億円増益の424億円となりました。
- ◆ 税引前利益は、前期比114億円増益の448億円。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比120億円増益の244億円となりました。
- ◆ 為替レートは、1ドル111円、1ユーロ131円でございます。
なお、前年同期からの為替影響につきましては、売上収益でプラス354億円、営業利益でプラス17億円増加する方向に効いております。

1-2) 2021年度第3四半期 決算状況 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



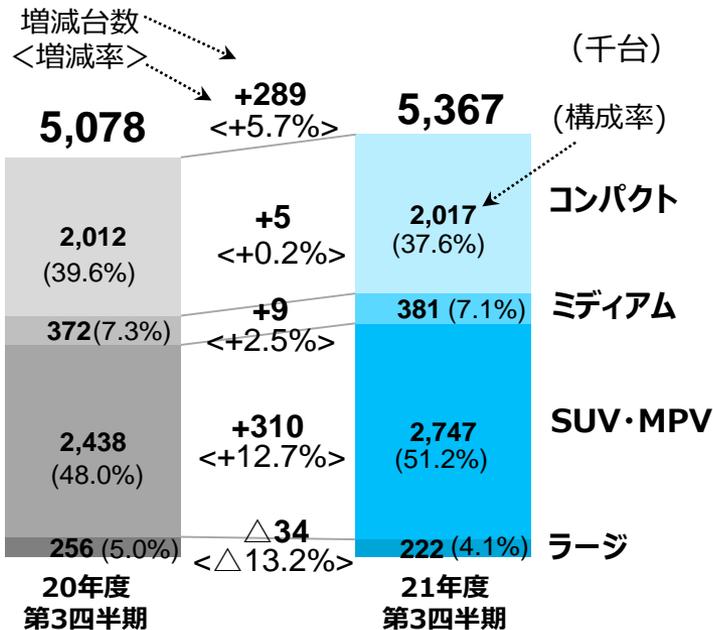
スクリプト

- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシートの生産台数ですが、連結全体では、前期比プラス29万台の537万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

1-3) 2021年度第3四半期 決算状況 連結 売上収益・営業利益

諸経費の増加や材料費高騰などの減益要因はあるものの、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより増益

台数・車種構成の変化

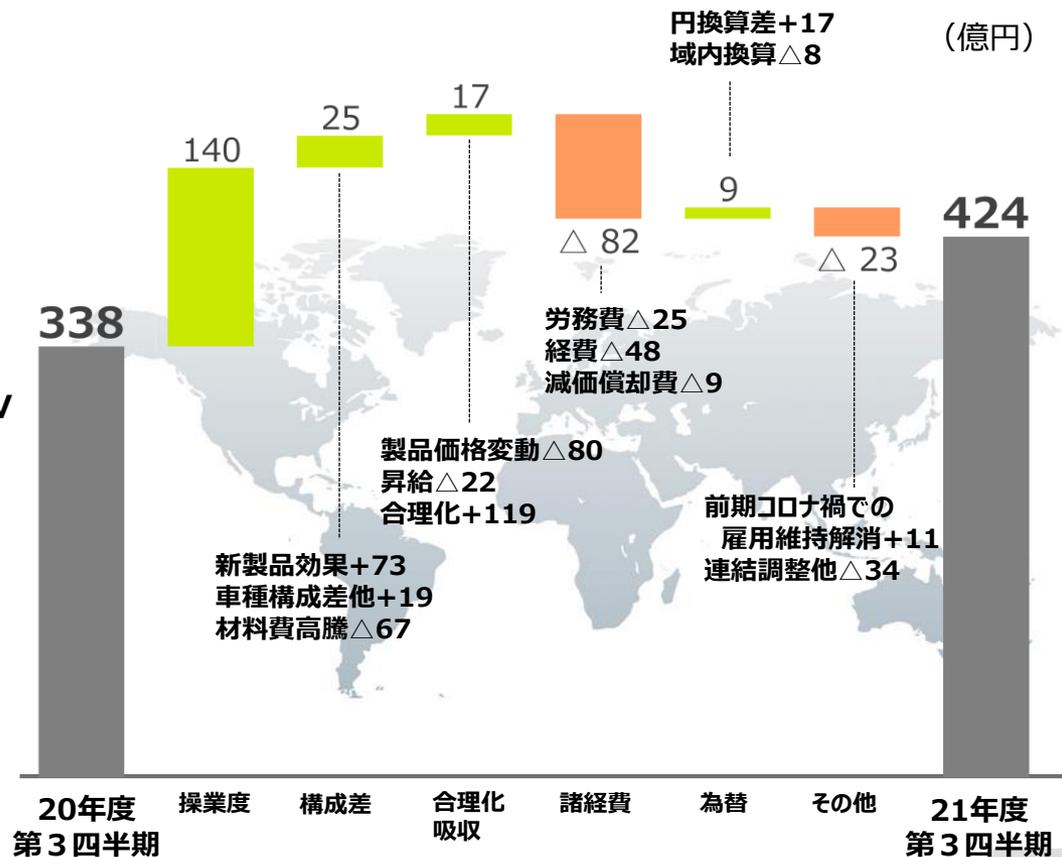


当期の経営成績

(億円)

	20年度3Q	21年度3Q	増減
売上収益	9,236	10,349	1,112
営業利益	338	424	85
営業利益率	3.7%	4.1%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

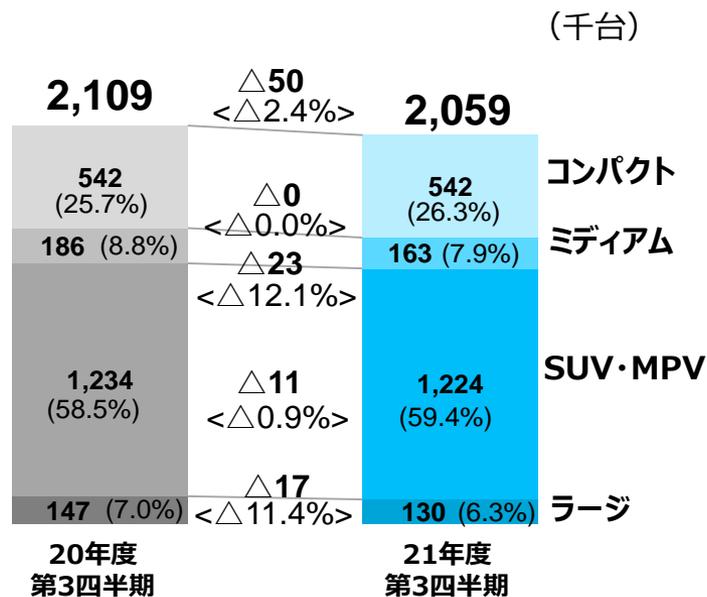


- ◆次に、連結の業績についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比プラス29万台の537万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,112億円増加の1兆349億円。
- ◆営業利益は、
材料費高騰などの外部環境変化による減益要因はありますが、
前年度のコロナ禍で構築したリーンな生産体制を基盤に、
増産効果を最大限取り込むとともに、
新製品の立上げロスの最小化と収益向上活動などにより、
85億円増益の424億円となりました。

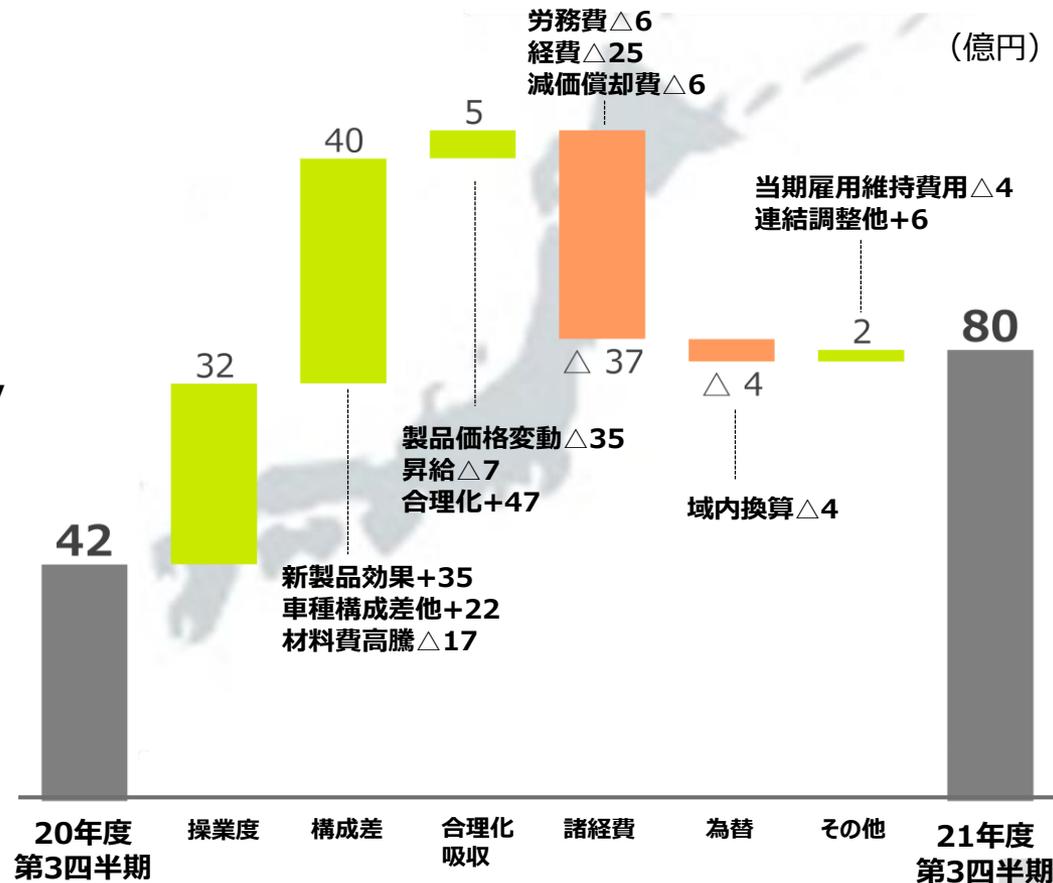
1-3) 2021年度第3四半期 決算状況 日本 売上収益・営業利益

諸経費の増加や材料費高騰などの減益要因はあるものの、
新製品効果や車種構成の良化などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

(億円)

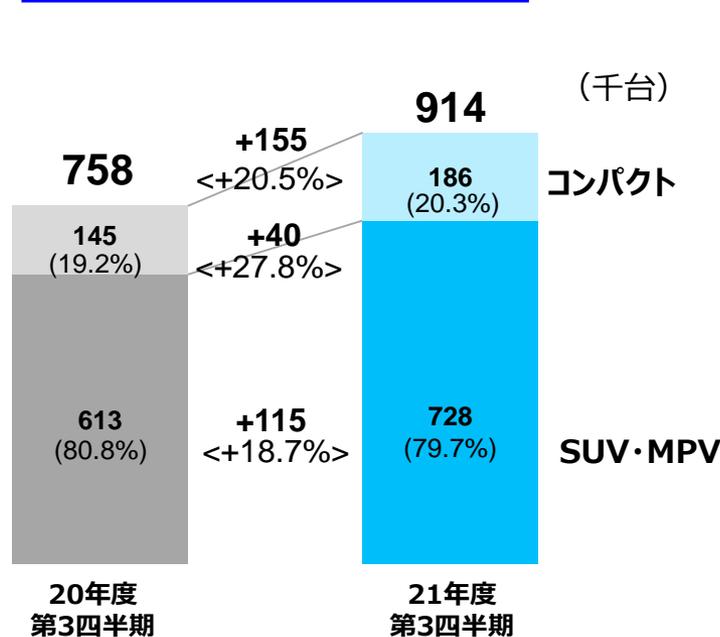
	20年度3Q	21年度3Q	増減
売上収益	5,113	5,191	77
営業利益	42	80	37
営業利益率	0.8%	1.5%	-

- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス5万台の206万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比77億円増加の5,191億円。
- ◆営業利益は、
諸経費の増加や、材料費高騰などの減益要因はありますが、
新製品効果や車種構成の良化などにより
37億円増益の80億円となりました。

1-3) 2021年度第3四半期 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

材料費高騰や生産正常化に伴う諸経費増加などの減益要因はあるものの、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより増益

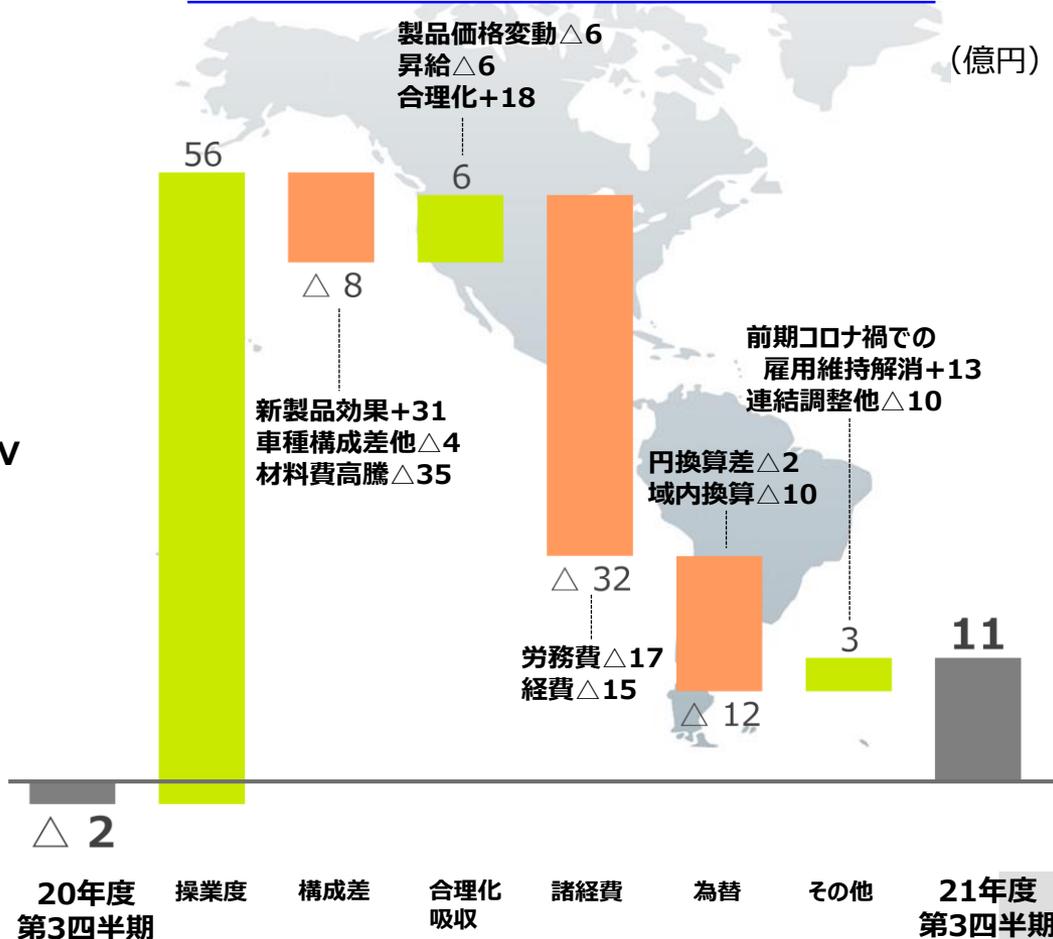
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度3Q	21年度3Q	増減
売上収益	1,742	2,313	571
営業利益	△2	11	14
営業利益率	△0.2%	0.5%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



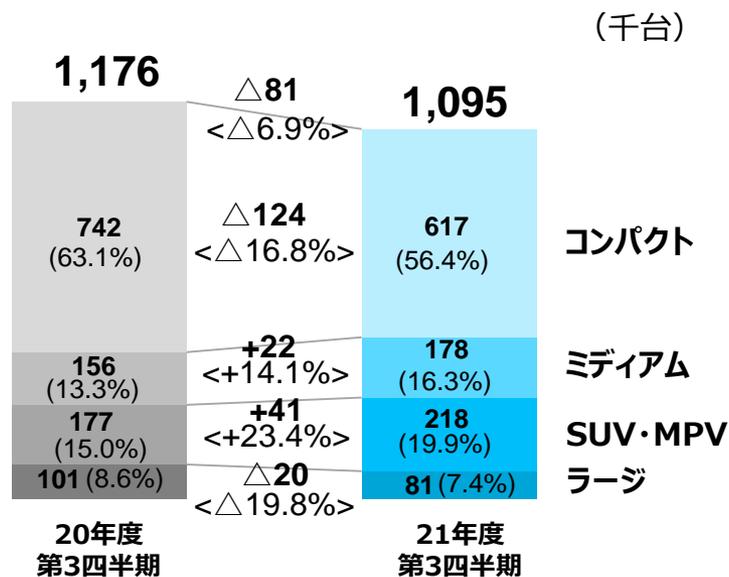
スクリプト

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比プラス16万台の91万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比571億円増加の2,313億円。
- ◆営業利益は、
材料費高騰や生産正常化に伴う諸経費増加などの減益要因はありますが、前年度のコロナ禍からの需要回復による増産影響や新製品効果などにより14億円増益の11億円となりました。

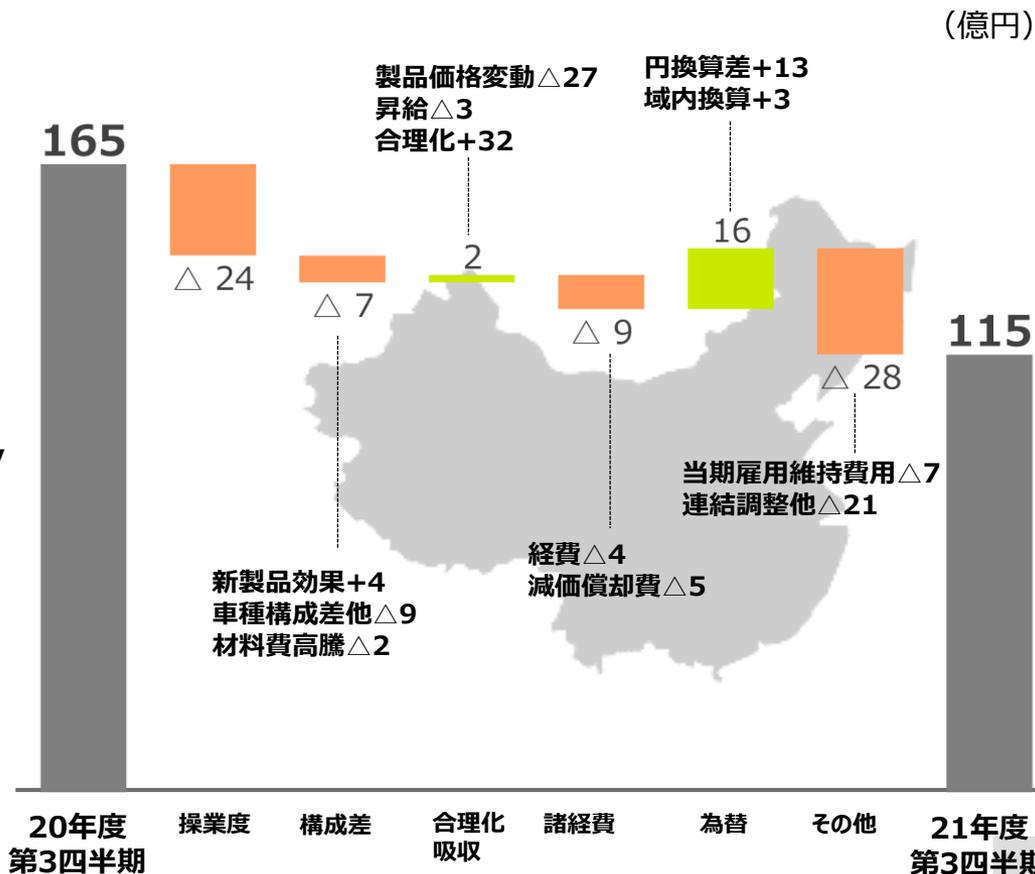
1-3) 2021年度第3四半期 決算状況 中国 売上収益・営業利益

前年度にコロナ禍からの需要回復に伴う増産影響があったことに加え、今年度の部品供給問題に伴う減産影響などにより減益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

(億円)

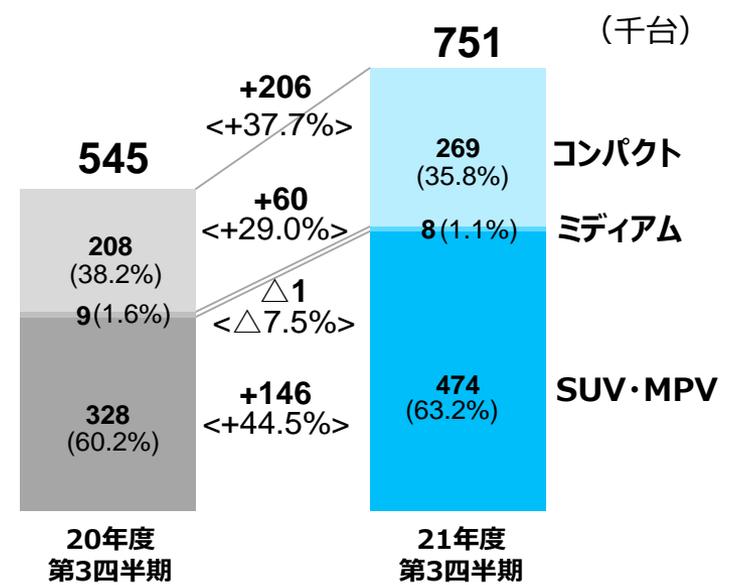
	20年度3Q	21年度3Q	増減
売上収益	1,392	1,521	128
営業利益	165	115	△50
営業利益率	11.9%	7.6%	-

- ◆次に、中国ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス8万台の109万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比128億円増加の1,521億円。
- ◆営業利益は、
前年度にコロナ禍からの回復に伴う需要回復があったことに加え、
今年度の部品供給問題による減産影響などにより、
50億円減益の115億円となりました。

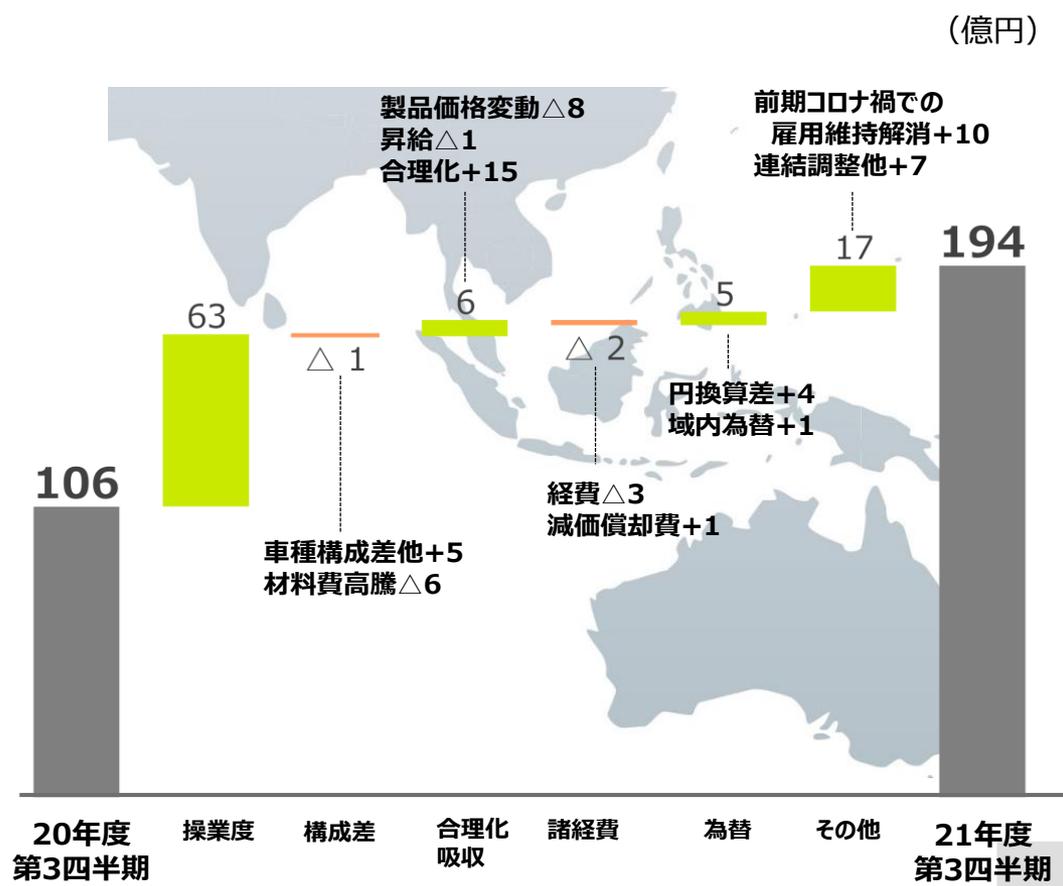
1-3) 2021年度第3四半期 決算状況 アジア・中東 売上収益・営業利益

前年度コロナ禍からの需要回復に加え、
新車投入効果による増産影響などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析 (前期比)



当期の経営成績

	20年度3Q	21年度3Q	増減
売上収益	999	1,347	347
営業利益	106	194	88
営業利益率	10.6%	14.4%	-

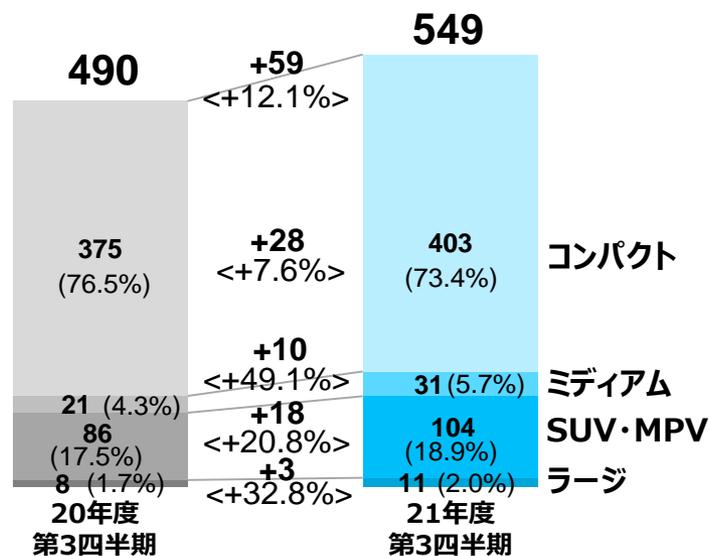
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、前期比プラス21万台の75万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比347億円増加の1,347億円。
- ◆営業利益は、
前年度コロナ禍からの需要回復に加え、
新車投入効果による増産影響などにより
88億円増益の194億円となりました。

1-3) 2021年度第3四半期 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響はあるものの、
材料費高騰や一過性の減益要因などにより減益

台数・車種構成の変化

(千台)



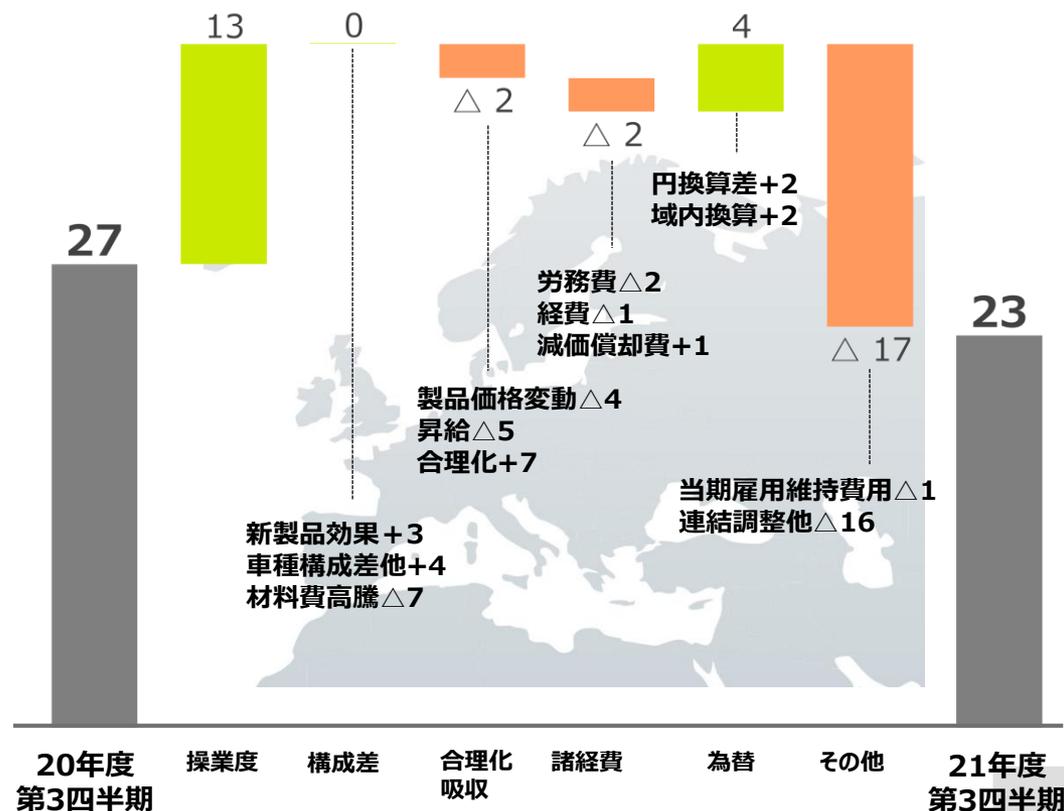
当期の経営成績

(億円)

	20年度3Q	21年度3Q	増減
売上収益	570	656	85
営業利益	27	23	△3
営業利益率	4.8%	3.6%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、前期比プラス6万台の55万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比85億円増加の656億円。
- ◆営業利益は、
前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響はありましたが、
材料費高騰や一過性の減益要因などにより
3億円減益の23億円となりました。

目次

1. 2021年度第3四半期 決算状況

2. 2021年度 通期業績予想

3. 参考情報

◆続いて、2021年度の業績予想についてご説明いたします。

2-1) 2021年度 通期業績予想 連結決算概要

(億円)

	20年度 通期実績		21年度 通期予想		増減		21年度通期予想 (前回公表)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上収益	12,721	100.0%	13,800	100.0%	1,078	8.5%	14,000	100.0%
営業利益	571	4.5%	600	4.3%	28	5.1%	720	5.1%
税引前利益	573	4.5%	610	4.4%	36	6.4%	730	5.2%
当期利益*	311	2.5%	370	2.7%	58	18.6%	470	3.4%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益	166円93銭	198円01銭	251円52銭		
為替レート	USドル	106円	112円	+6円	110円
	1-0	124円	130円	+6円	128円

売上収益

コロナ再拡大や部品供給問題などによる減産リスクはあるものの、グローバルでの需要回復などにより増収となる見込み

営業利益

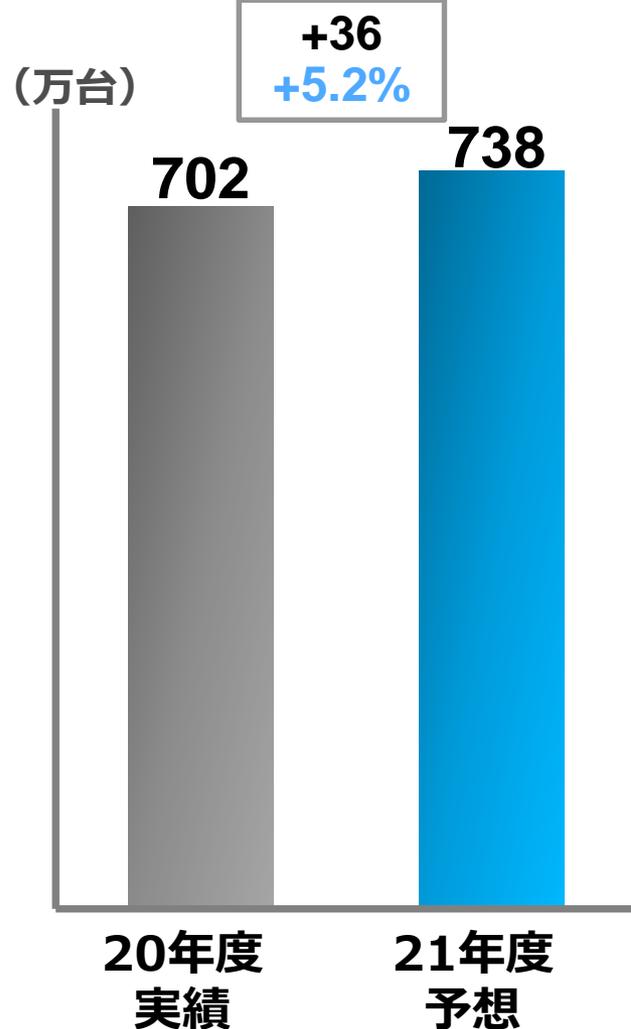
減産リスクや材料費高騰などの減益要因はあるものの、全社を挙げた収益確保の実施などにより前年比で増益の見込み

スクリプト

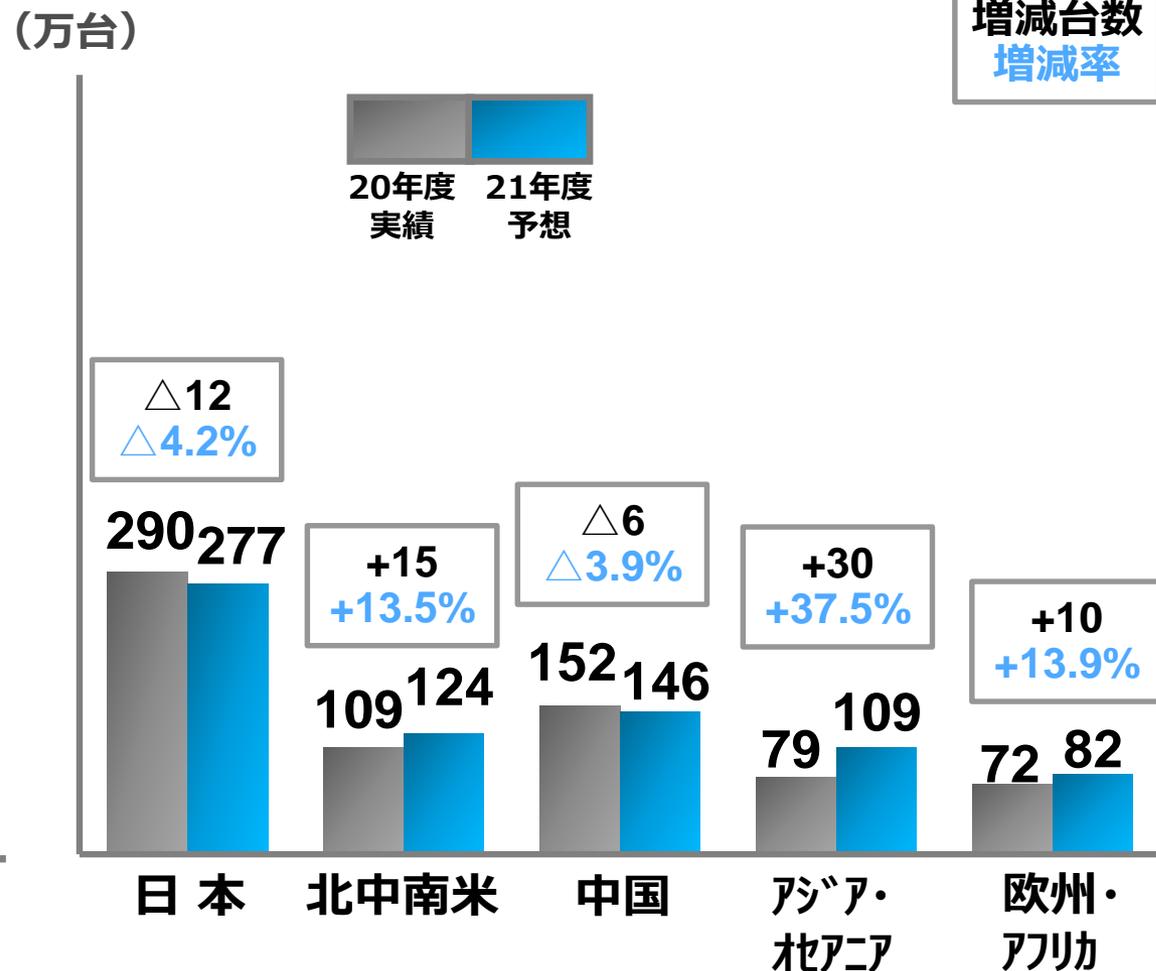
- ◆売上収益は、前期比1,078億円増加の1兆3,800億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比28億円増益の600億円。
- ◆税引前利益は、前期比36億円増益の610億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比58億円増益の370億円をそれぞれ予想しております。
- ◆為替レートは、1ドル112円、1ユーロ130円を前提としております。

2-2) 2021年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別



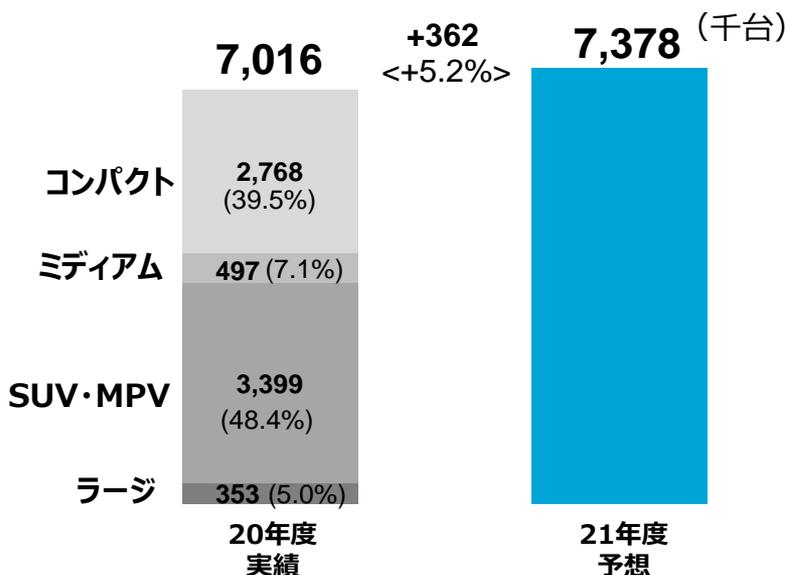
- ◆次に、シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比プラス36万台の738万台と
予想しております。

- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

2-3) 2021年度 通期業績予想 連結 売上収益・営業利益

将来の成長に向けた先行投資の実施や材料費高騰による減益はあるものの、新製品効果や収益確保策の実施などにより、増益となる見込み

台数・車種構成の変化



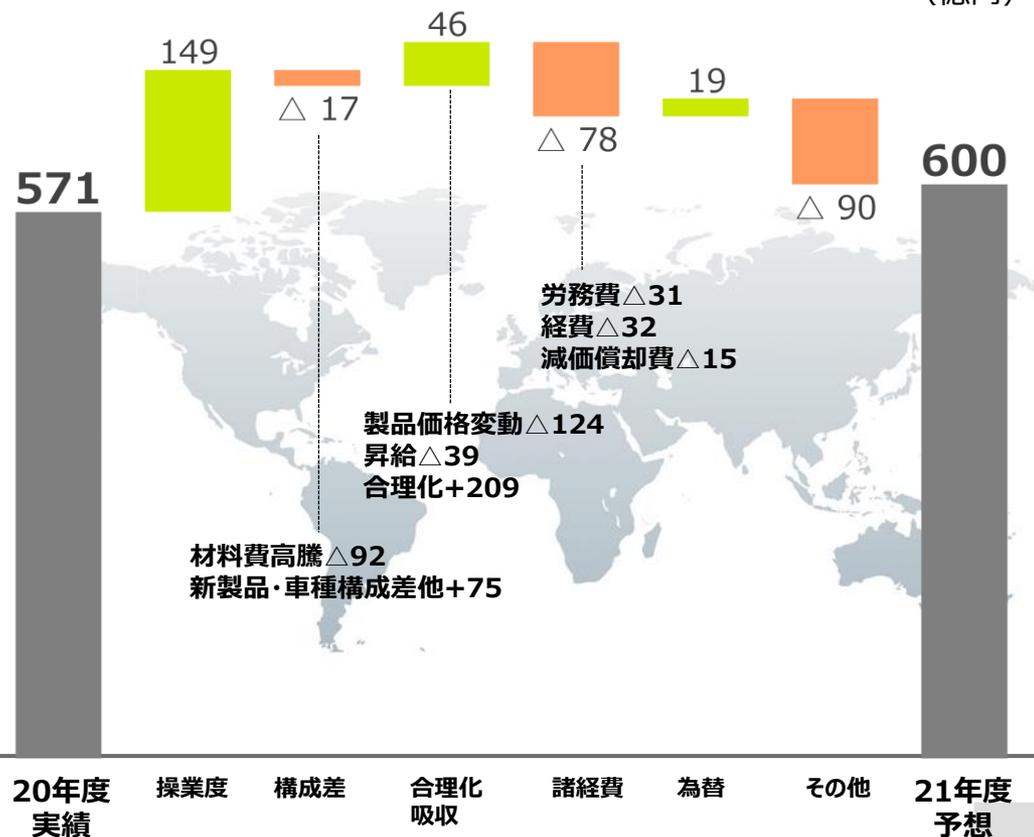
当期の経営成績

(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	12,721	13,800	1,078
営業利益	571	600	28
営業利益率	4.5%	4.3%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

(億円)



スクリプト

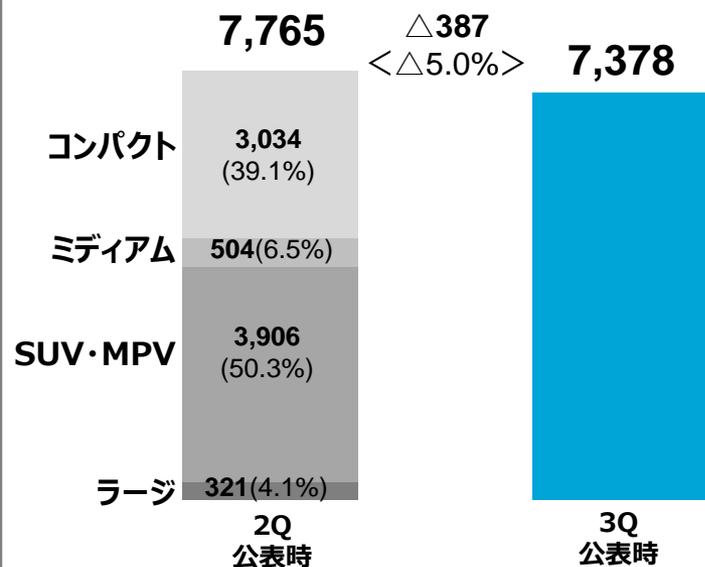
- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数・車種構成の変化ですが、3月までの稼働状況が、一部不透明なため、今回は台数のみの公表となります。台数は前期比プラス36万台の738万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比1,078億円増加の1兆3,800億円。
- ◆営業利益は、将来の成長に向けた先行投資の実施や材料費高騰などの減益要因はありますが、前年度に構築したリーンな生産体制を基盤に、グローバルでの増産効果を最大限取り込むとともに、新製品の収益向上活動や全社を挙げた収益確保策の実施により、前期比28億円増益の600億円を想定しております。

2-4) 2021年度通期 業績予想 第2四半期 公表値との差異

グローバルでの減産影響や一時的費用を織り込んで減益の見込みだが、新製品効果の最大化などの収益確保策により前年を上回る見込み

台数・車種構成の変化

(千台)



当期の経営成績

(億円)

	2Q公表時	3Q公表時	増減
売上収益	14,000	13,800	△200
営業利益	720	600	△120
営業利益率	5.1%	4.3%	-

営業利益の増減解析

(億円)

	2Q 公表時	3Q 公表時	差異	内容
20年度実績	571	571	-	
操業度	256	149	△107	・減産影響
構成差	△29	△17	+12	・営業努力などの収益確保策
合理化吸収	46	46	-	
諸経費	△78	△78	-	
為替	14	19	+5	
その他	△60	△90	△30	・減産などに伴う一時的費用
21年度予想	720	600	△120	

スクリプト

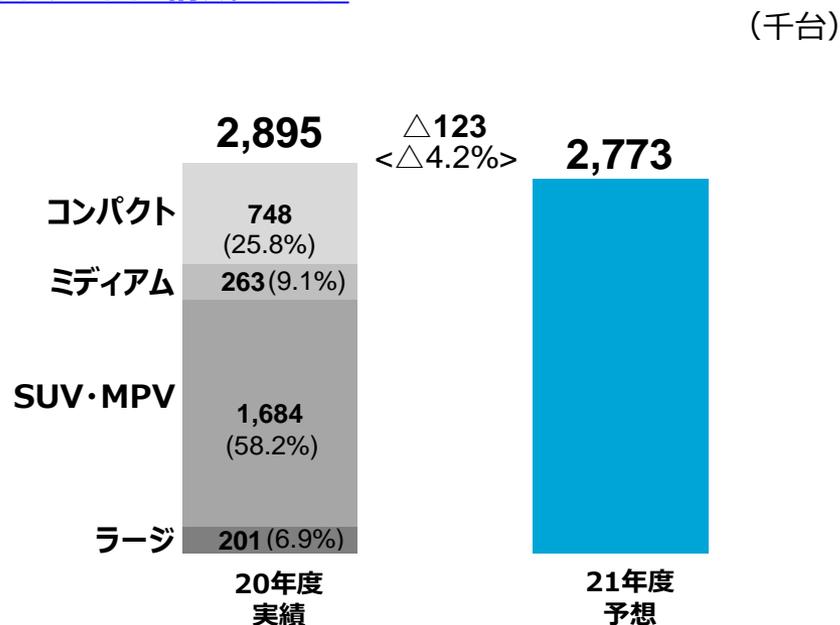
- ◆次に、第2四半期に公表いたしました、営業利益見通し720億円と、今回の見通し600億円の差異についてご説明させていただきます。
- ◆営業努力などの収益確保策による増益はありますが、第2四半期時点での想定より半導体などの世界的な部品供給不足や新型コロナの再拡大による減産が続いていることに加え、減産に伴う一時的費用の発生が主な減益要因となっております。
- ◆一方で、前年度の減産状況下で集中的に進めてきました、人材育成を含めた生産現場での改善活動による生産性の向上や、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減など、諸経費の効率化などの収益確保策を継続することで、前年度を上回る営業利益を見込んでおります。

2-5) 2021年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

新製品効果などの増益要因はあるものの、
コロナ再拡大や部品供給問題などによる
減産影響により減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

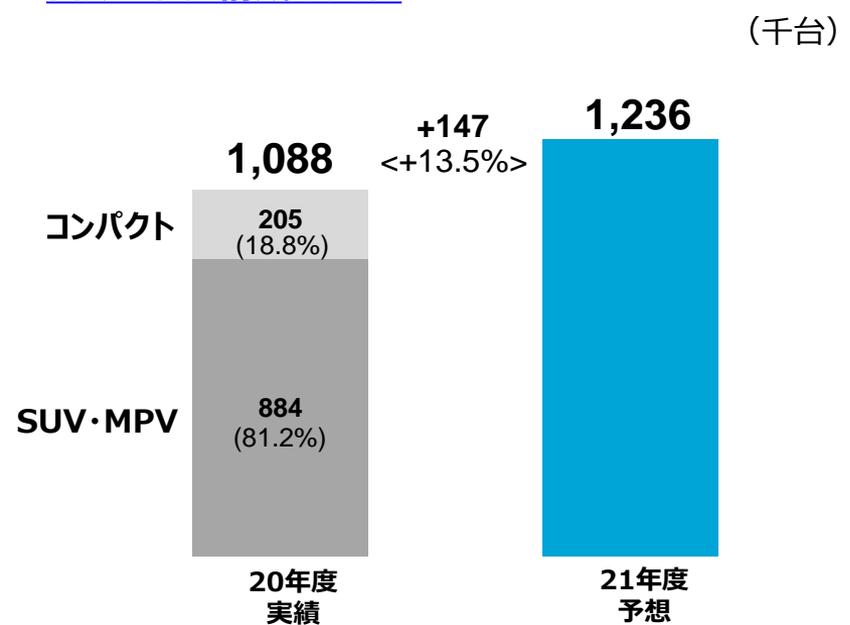
(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	6,996	6,900	△96
営業利益	140	90	△50
営業利益率	2.0%	1.3%	-

北中南米

材料費高騰による減益要因はあるものの、
増産影響やモデルチェンジに伴う一時的な不効率
の解消などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	2,460	3,100	639
営業利益	14	40	25
営業利益率	0.6%	1.3%	-

スクリプト

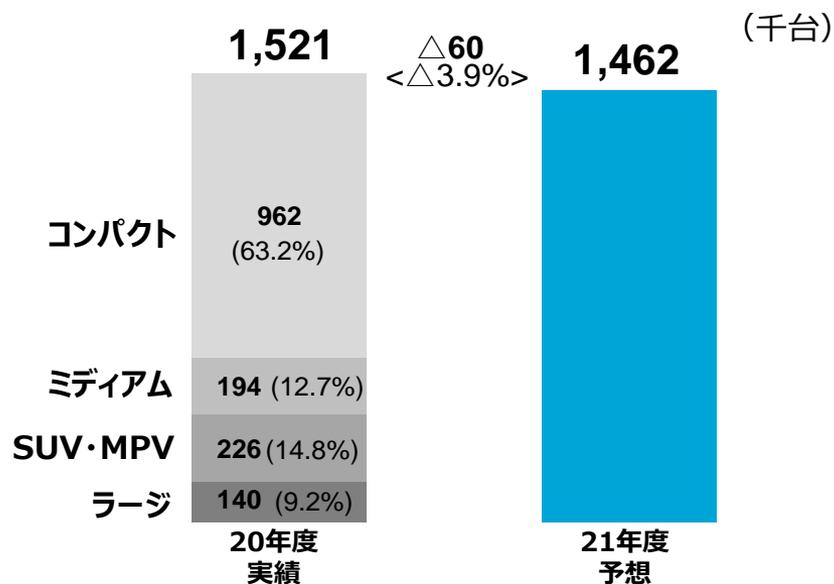
- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。
- ◆まず日本ですが、
台数は、前期比マイナス12万台の277万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比96億円減少の6,900億円。
- ◆営業利益は、新製品効果などの増益要因はありますが、
新型コロナの再拡大や部品供給問題などによる減産影響により
前期比50億円減益の90億円となる見込みです。
- ◆次に、北中南米ですが、
台数は、前期比プラス15万台の124万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比639億円増加の3,100億円。
- ◆営業利益は、材料費高騰による減益要因はありますが、
増産効果やモデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより
前期比25億円増益の40億円となる見込みです。

2-5) 2021年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

中国

新製品効果などの増益要因はあるものの、
コロナ再拡大や部品供給問題などによる
減産影響により減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

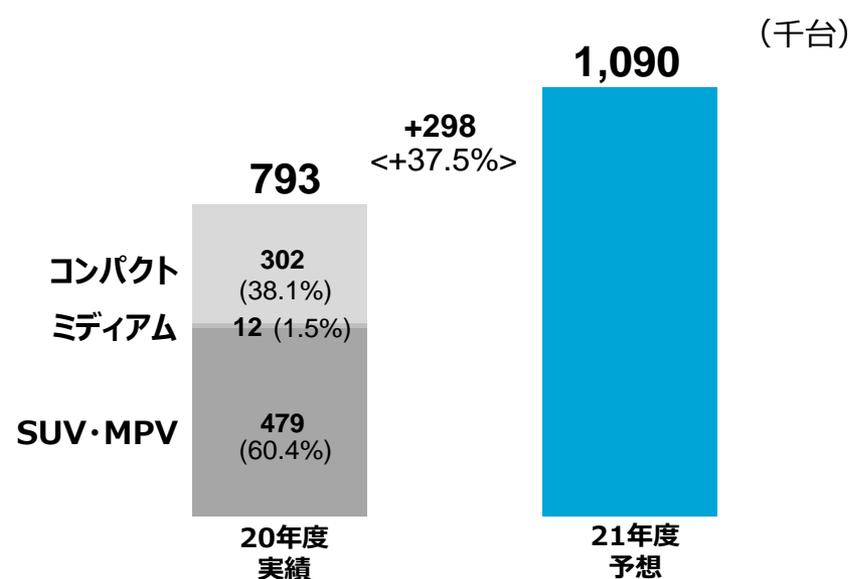
	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	1,804	2,000	195
営業利益	184	160	△24
営業利益率	10.2%	8.0%	—

(億円)

アジア・セアニア

前年度コロナ禍からの需要回復による
増産影響などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	1,444	1,850	405
営業利益	171	260	88
営業利益率	11.9%	14.1%	—

(億円)

スクリプト

- ◆次に、中国ですが、
台数は、前期比マイナス6万台の146万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比195億円増加の2,000億円。
- ◆営業利益は、新製品効果など増益要因はありますが、
新型コロナウイルスの再拡大や部品供給問題などによる減産影響により
前期比24億円減益の160億円となる見込みです。

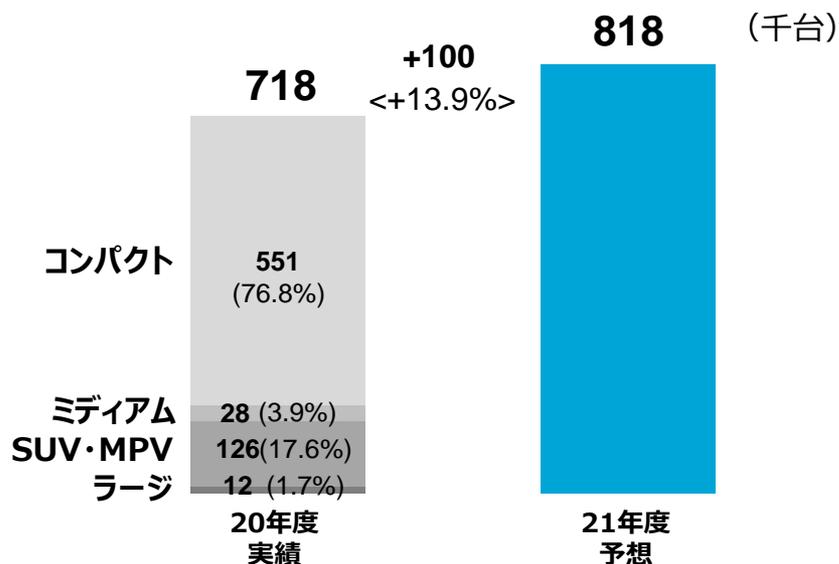
- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
台数は、前期比プラス30万台の109万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比405億円増加の、1,850億円。
- ◆営業利益は、前年度コロナ禍からの需要回復による増産影響などにより
前期比88億円増益の260億円となる見込みです。

2-5) 2021年度 通期業績予想 地域別 売上収益・営業利益

欧州・アフリカ

増産影響はあるものの、材料費高騰影響や一過性要因などにより減益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

(億円)

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	826	950	123
営業利益	60	50	△10
営業利益率	7.3%	5.3%	-

スクリプト

- ◆次に、欧州・アフリカですが、
台数は、前期比プラス10万台の82万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比123億円増加の950億円。
- ◆営業利益は、増産影響はありますが、材料費高騰や一過性の要因などにより
前期比10億円減益の50億円となる見込みです。

2-6) 2021年度 通期業績予想 地域別・上下別

売上収益

(億円)

	上期	下期	通期
日本	3,427	3,472	6,900
北中南米	1,459	1,640	3,100
中国	874	1,125	2,000
アジア・中東	819	1,030	1,850
欧州・アフリカ	398	551	950
連結全体	6,520	7,279	13,800

営業利益

(億円)

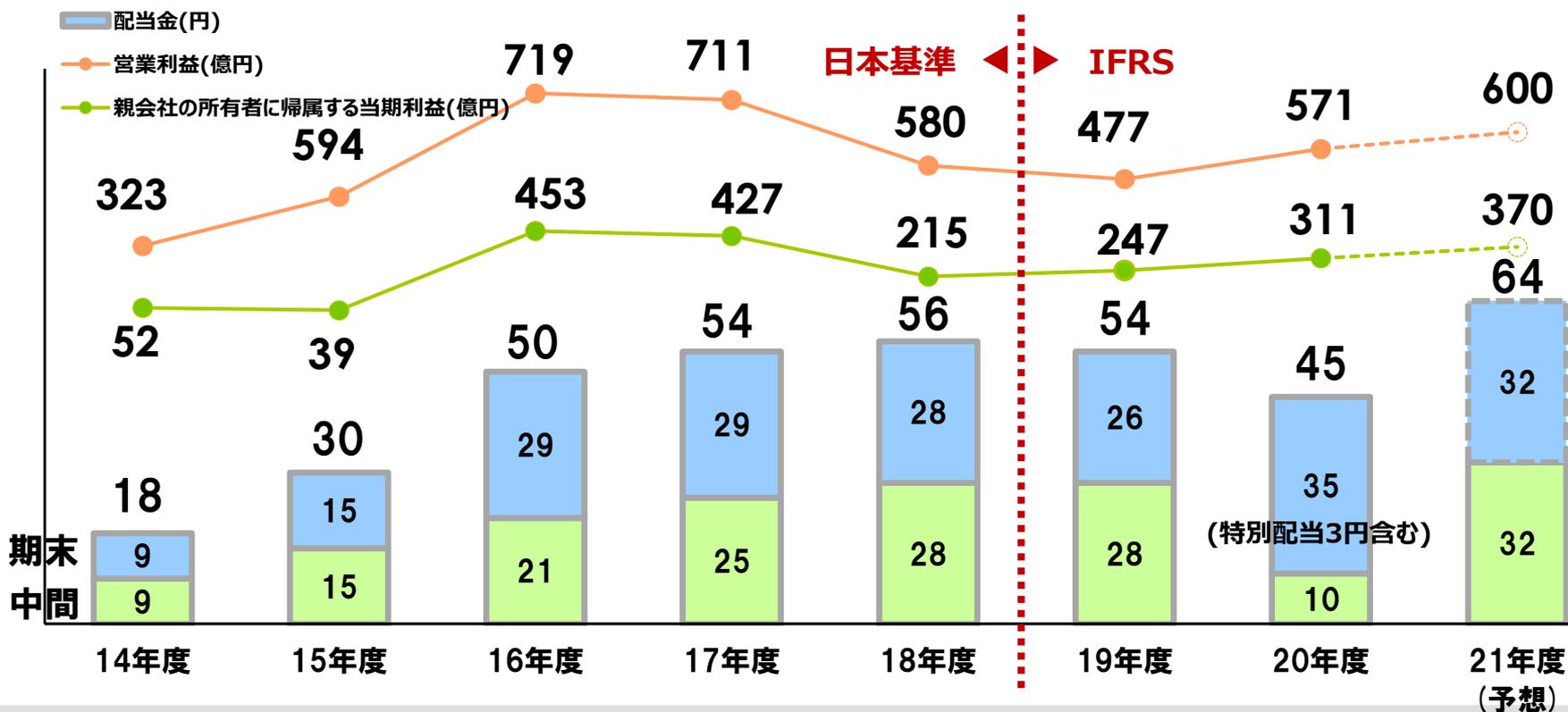
	上期		下期		通期	
日本	56	1.6%	33	1.0%	90	1.3%
北中南米	18	1.3%	21	1.3%	40	1.3%
中国	47	5.4%	112	10.0%	160	8.0%
アジア・中東	117	14.3%	142	13.8%	260	14.1%
欧州・アフリカ	3	0.8%	46	8.5%	50	5.3%
連結全体	242	3.7%	357	4.9%	600	4.3%

- ◆なお、上期・下期の売上収益・営業利益につきましてはご覧いただいた通りです。

2-7) 2021年度 通期業績予想 株主還元

客先減産に伴う減益影響はあるものの、稼ぐ力の向上等を総合的に勘案し、
 期末は、長期安定的な配当を継続（32円）

配当金および営業利益、当期利益の推移



- ◆次に、配当金でございますが、期末につきましては、
連結業績等を総合的に勘案し、
長期安定的な配当継続の観点などから、
32円とさせていただく予定です。

2-8) 2021年度 第3四半期 総括

【第3四半期 実績】

- ・減産影響はあったものの、**全社を挙げた収益確保により、営業利益は前回公表レベルで進捗**

【第4四半期の見通し】

- ・3月までの客先減産を織り込み、**前回公表からの減益を予想**

【通期予想】

- ・前回公表からの減益を予想する一方、**新製品効果や諸経費の効率化に加え減産状況下での原価改善などにより、稼ぐ力は確実に向上**
- ・2025経営計画目標達成に向けた**アクションプランは着実に進捗**

スクリプト

- ◆最後に、当第3四半期決算を総括させていただきます。
- ◆当第3四半期におきましては、グローバルでの部品供給問題等による客先の減産など、外部環境による減益要因はありましたが、全社を挙げた収益確保により、営業利益は前回公表レベルで進捗いたしました。
- ◆第4四半期につきましては、3月までの客先の減産影響を織り込みまして、前回公表からは減益を予想、それに伴い、通期業績予想も下方修正いたしました。新製品効果や諸経費の効率化に加え、減産状況下での原価改善などにより、稼ぐ力は確実に向上しているものと考えます。
- ◆また、今期までに構築してきました新しい働き方や、リーンな生産体制を基盤に、2025経営計画 目標達成に向けたアクションプランは着実に進捗しております。

スクリプト

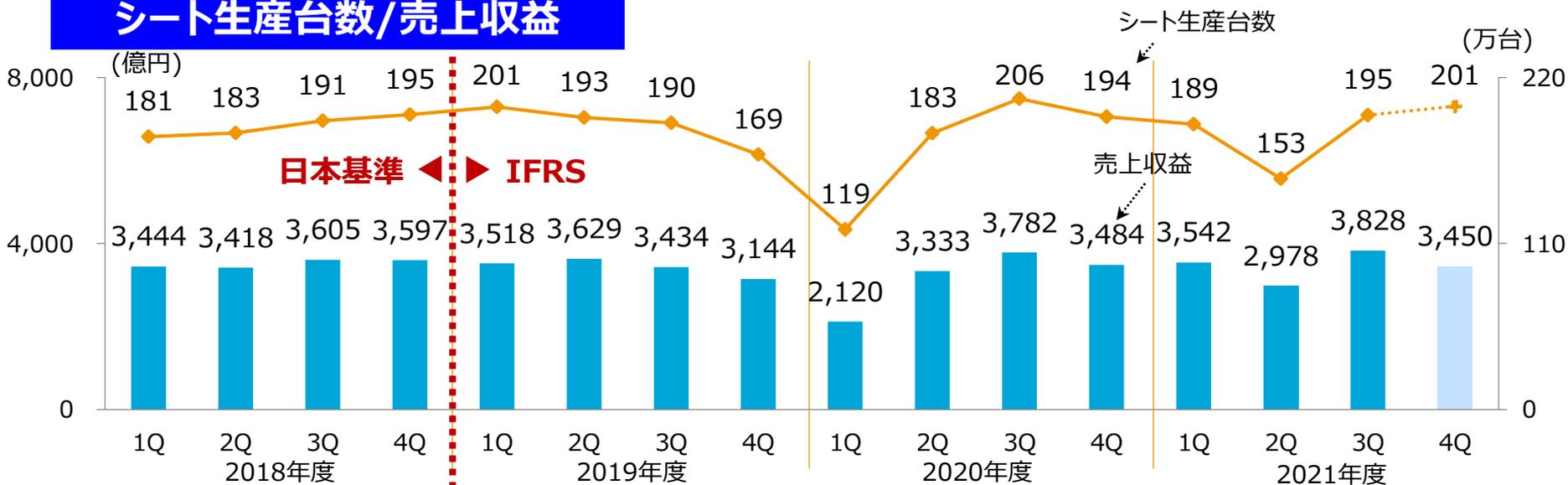
- ◆以上をもちまして、2021年度 第3四半期決算の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

目次

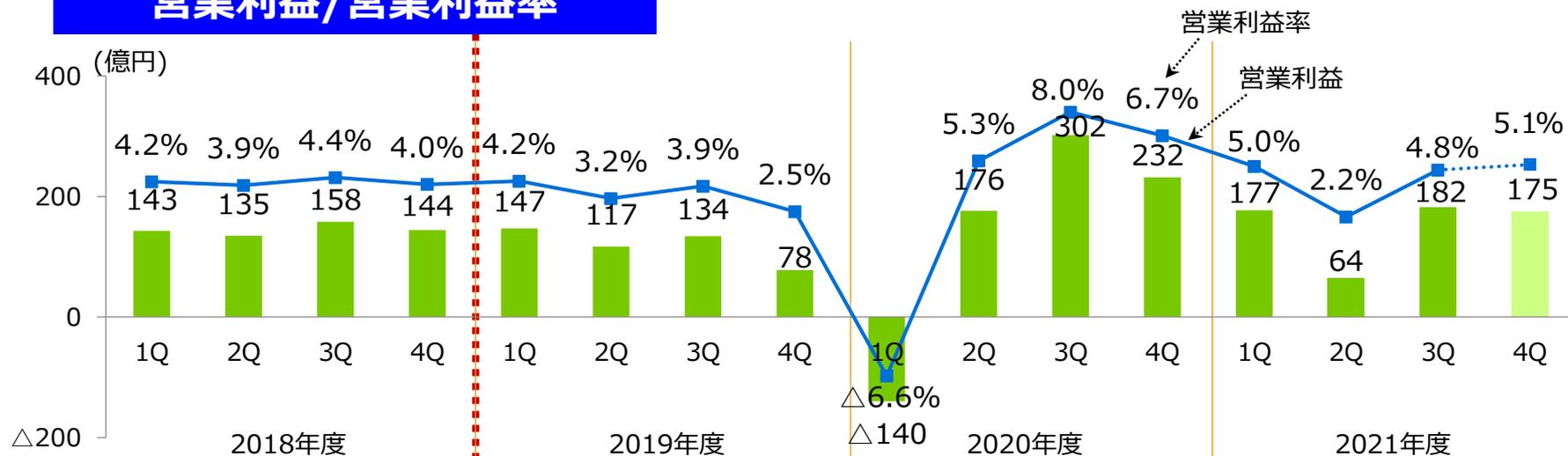
1. 2021年度第3四半期 決算状況
2. 2021年度 通期業績予想
- 3. 参考情報**

参考1) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

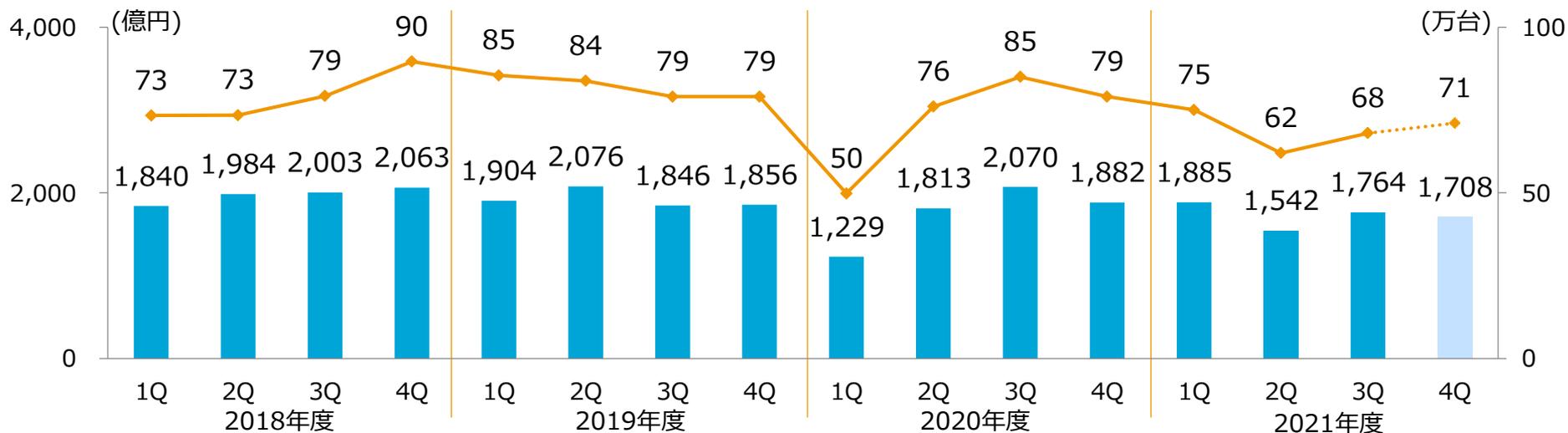


営業利益/営業利益率

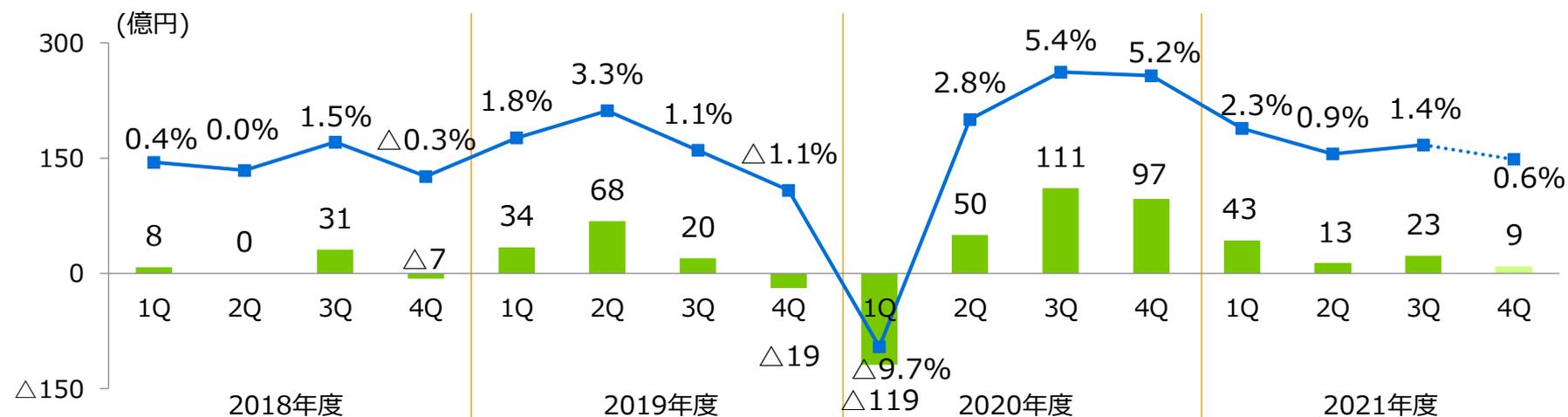


参考2) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

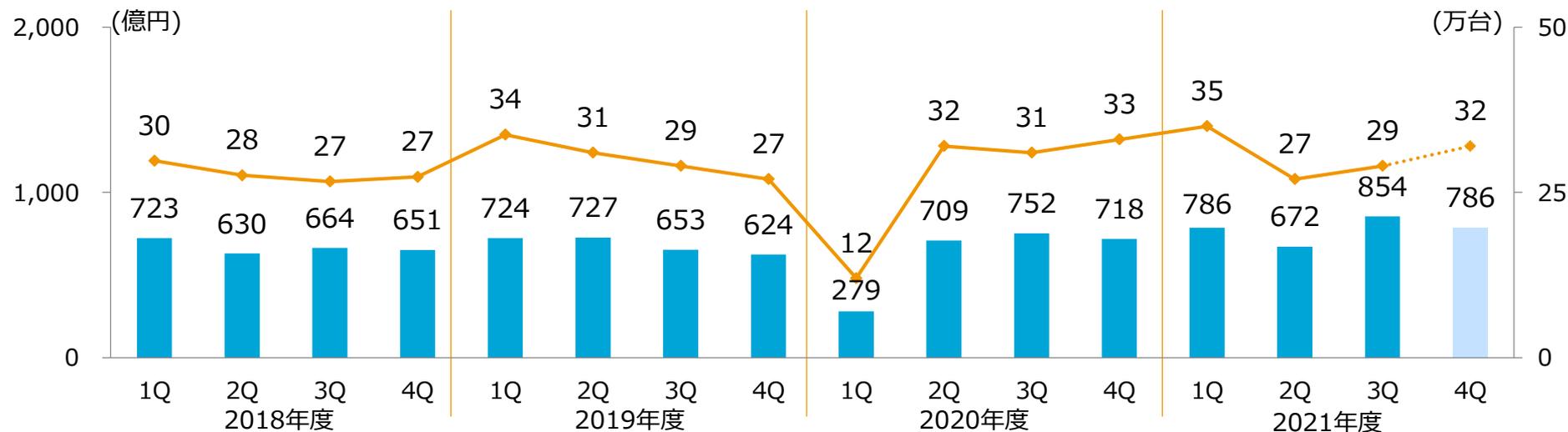


営業利益/営業利益率

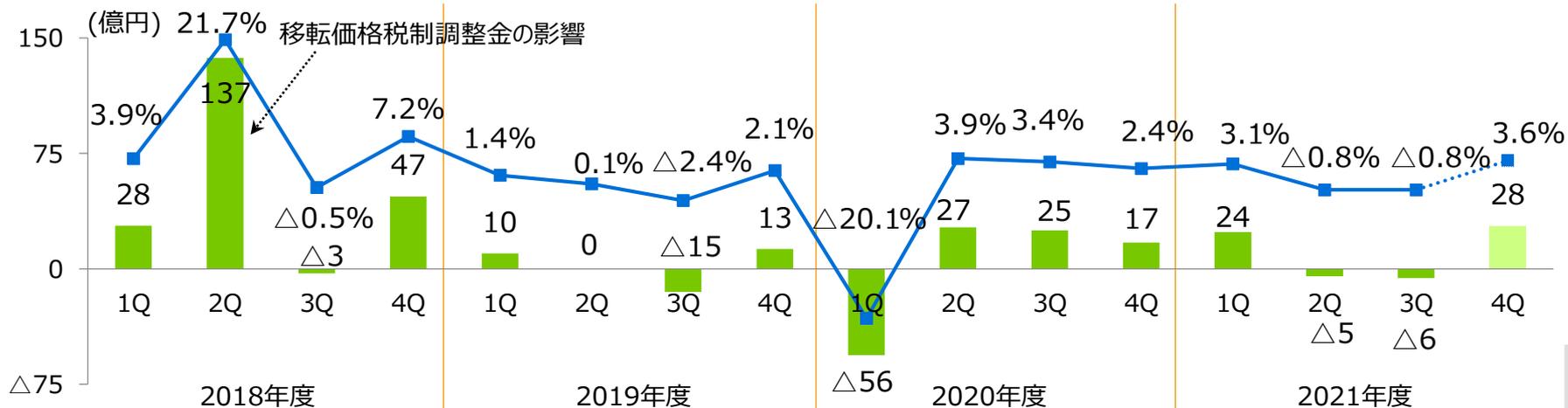


参考3) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

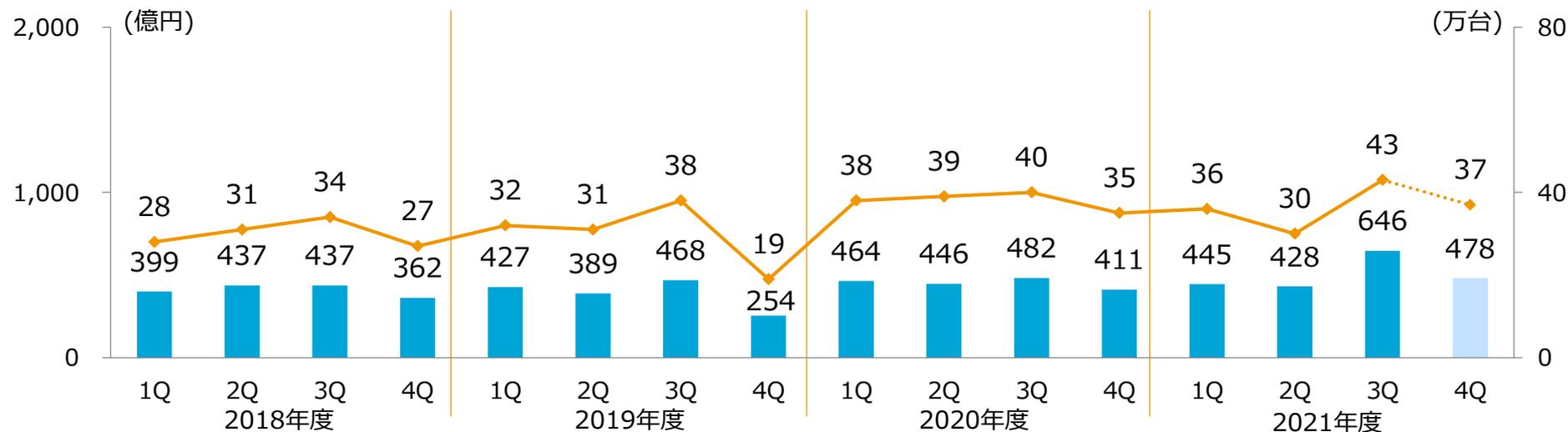


営業利益/営業利益率



参考4) 四半期推移 中国 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

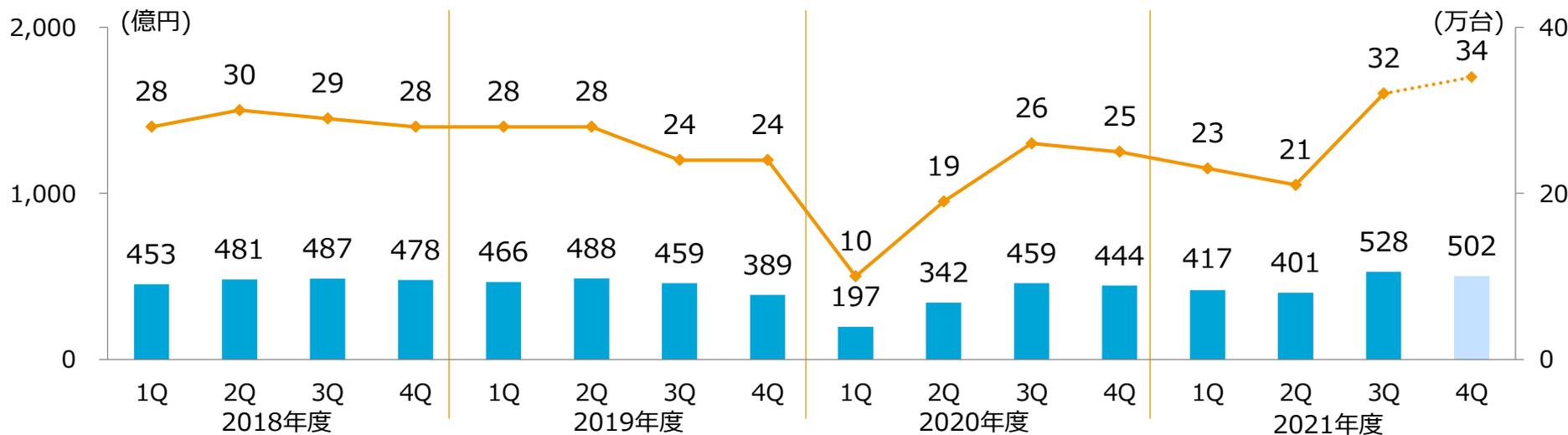


営業利益/営業利益率

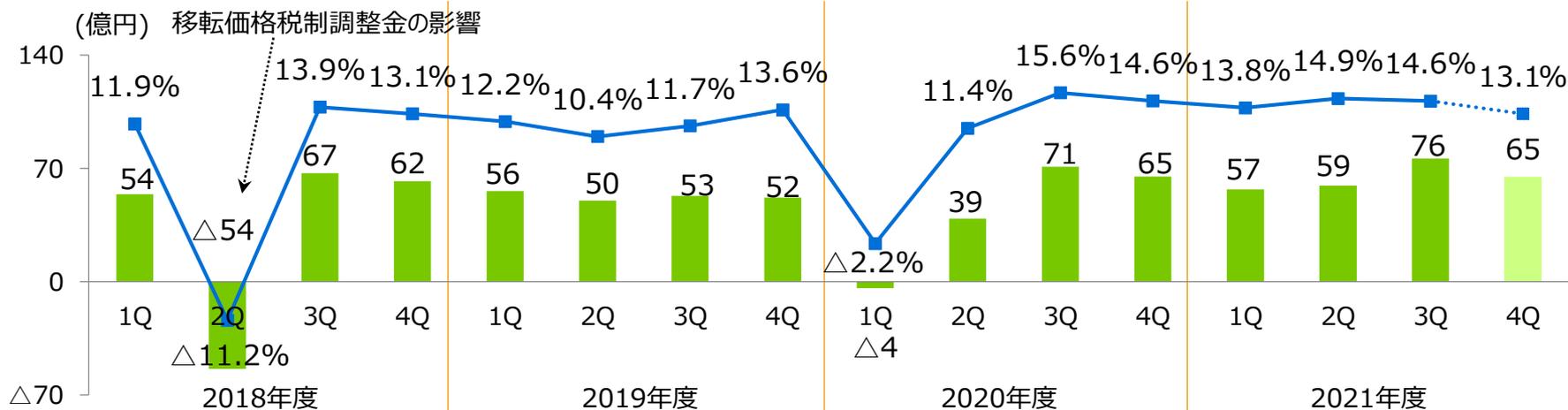


参考5) 四半期推移 アジア・北アニア 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

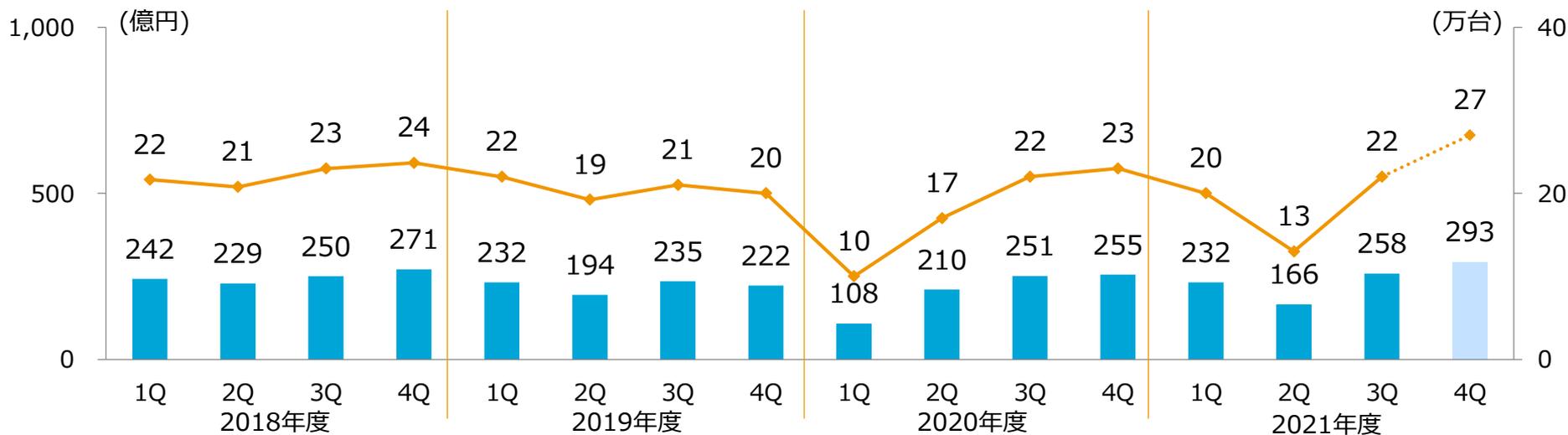


営業利益/営業利益率

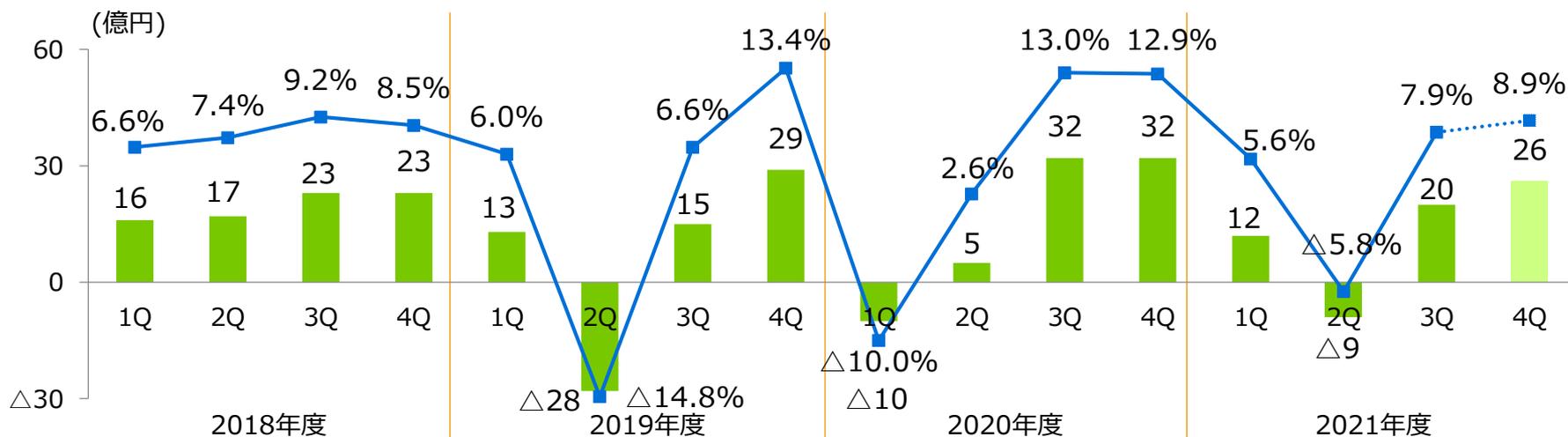


参考6) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。